

第 24 回放送番組審議会議事録

日 時	令和 5 年 3 月 17 日（金）午後 2 時 00 分から午後 3 時 55 分
場 所	(株)鳥取テレトピア会議室
出席委員 (敬称略)	田渕 雅昭（会長） 窪田 清恵 藤原 俊文 前田 四寿子 中村 徹
欠席委員	山本 泰子
放送局出席者	秋山 光行（代表取締役社長） 川本 弘則（常務取締役） 橋尾 千秋（制作部次長）

【報告事項】

（2022 年度の自主制作番組について）

コロナ禍で取材が制限されたが番組編成、各番組も大幅な変更も行なわず放送した。

今年度は姫路市・鳥取市姉妹都市提携 50 周年の番組やスタッフが白ネギ栽培に挑戦する番組を新たに開始。また、市役所にあるスタジオを活用し、鳥取市長から市民へのメッセージを収録、放送した。

【審議内容】

①自主放送番組について

②番組視聴・合評

「一生の仕事～原木乾しいたけづくり名人 森栄伸さん～」
鳥取市岩坪で半世紀にわたってシイタケ栽培をしている
森栄伸さんの一年を見つめた番組。

●自主制作番組へのご意見、ご要望

委員 「ワクワク公民館」番組では、公民館の委託事業だけでなく、サークルや各種団体の紹介やまちづくり活動を含めてみてはどうか。公民館の出したい情報を流せないものか。
→鳥取市の広報や担当課と今後協議したい。

委員 グラウンドゴルフや元気なお年寄り、地域のグループ・サークル活動などを紹介してもらいたい。
 「佐治谷ばなし」のコーナーを復活してほしい。
 また、佐治地区では空き家が増えていて、まだ利用可能な物件もたくさんある。空き家を活用した事例（移住者や店舗）などを紹介してほしい。
 今後も積極的に情報提供したい。

委員 カメラ機材を貸し出して地域の話題等を提供してもらってはどうか。（市広報番組の「まちかどアルバム」のように）。
 コロナも落ち着いてきて地域の行事が始まろうとしているので各地の話題が集められるのでは。
 →カメラの貸し出しは可能。過去に例もある。

委員 ぴよんぴよんの番組はいつも楽しみに見ている。
 山中ファームでは、本当に育つのだろうかとはハラハラしながら見ていたが、無事収穫できてよかった。また、まんぷく海鮮食堂は水川さんの手際が良く関心する。「ほのまる」の番組は見ると行ってみたい気持ちになり、何度か出かけた。
 これからも楽しい番組作りに期待している。

委員 一日一回はぴよんぴよんネットの番組を見ている。
 白ネギ栽培のほ場近くを通る時は気にしながら通っていた。
 収穫体験など視聴者が体験できることをやってみてはどうか。

●視聴番組に対してのご意見、ご感想など

委員 シイタケ栽培の大変さが伝わってくる番組だった。
 森さんの一生懸命な姿が印象に残った。

委員 農業は天候に左右されるので、苦勞が良くわかる。
 原木（クヌギ）は大変重い木なので作業も大変だと思う。

委員 森さんに後継者はあるのか。 →息子さんがいらっしゃる。
 佐治地区でも伝統の和紙作りの後継者不足が問題となっている。

どの産業でも後継者不足は問題。
また、様々な業種の名人（その道のプロ）を紹介する「一生の仕事」をシリーズ化してはどうか。